

テーマ：子どもとの接し方の影響を考えてみましょう

ねらい

同じ年齢の子どもをもつ保護者同士が、普段の自分の子育てについて情報交換することで、あらためて親のあり方と子どもの成長・発達を考える。

時間	主な活動	留意点
2	<p>【はじめに】</p> <p>子育ては毎日のことですから、忙しさにかまけて、ゆっくり時間をかけて子どもと接することが疎かになりがちです。今日は「家庭教育手帳」（文部科学省発行）の内容をもとに、子どもへの接し方を改めて見つめ直してみましょう。</p>	
5	<p>【アイスブレイク（例）】</p> <p>①携帯番号の末尾2桁を確認し、口（声）と指（数字を示す）を使わずに番号順に1列（円）になる。</p> <p>②円を利用して4人グループ（G）を作る。</p>	<p>①固定電話の番号でもよい。足で書いたり、拍手をしたりして知らせる等は認める。</p> <p>②新しい関係づくりに配慮する。</p>
8 15 10	<p>【アクティビティ】      準備物：ワークシート</p> <p>①子どもとの接し方（ポジティブ編）を配布し、Gで文意が一致するものをつなぐ。（真ん中の括弧にアルファベットを記入する。）その後、Gに質問をしながら、答合わせをする。</p> <p>②子どもとの接し方（ネガティブ編）を配布し、まずは個人で空欄を埋める。（5分）続いて、Gで話し合いながら、よりよい解答になるように努める。（10分）</p> <p>③全体発表をする。</p>	<p>①切り離してカードにして合わせてもらうこともできる。Gに尋ねる時には間違っている場合でも肯定的なコメントを出すようにする。</p> <p>②グループワークの前の個人ワークが重要である。ここでは「ひとつの正解はない」ことを確認する。</p> <p>③ひとつにつき1～2Gに、そこで交わされた意見についても聞く。時間を見ながら、尋ねるG数を調整する。</p>
8	<p>【ふりかえり】</p> <p>①今日のワークショップで感じたこと・気づいたことをGの中で発表し、共有する。</p>	<p>①守秘義務のルールを伝えて、素直な気持ちを表現してもらいましょう。</p>
2	<p>【まとめ】</p> <p>今日は、保護者のみなさんに普段の自分の子育てを振り返りつつ、子育てに大事なこと、留意しなければならないこと、などを考えていただきました。他の保護者の方がどのような考えをもち、どのような子育てをしているかについても、垣間見ることができたのではないのでしょうか。子育てがオープンにできれば、もっと楽しくなるかも知れませんね。</p>	